

令和元年度 国立中央青少年交流の家 教育事業

富士のさと イングリッシュキャンプ

期日：令和元年8月23日（金）～8月25日（日）2泊3日

○目的

キャンプ富士米軍海兵隊（マリーン）との交流を通し、英語に親しみ生きた英語力を身に付けるとともに国際的な感覚に触れ、積極的にコミュニケーションをとろうとする姿勢を身に付ける。



Let's enjoy English

○参加者

小学5年生 男子5名 女子5名、
小学6年生 男子9名 女子11名 計30名

○事業の内容

(1) 入国審査・両替に挑戦



Immigration & Currency exchange

(2) アイスブレイク、英語で自己紹介



Icebreaker & Self-introduction

(3) アウトドアクッキング



Outdoor cooking

(4) アメリカの遊びをしてみよう



Let's play American games

(5) 施設見学 ～ キャンプ富士～



Immigration & Base Tour

(6) ドルで昼食・買い物 ～ キャンプ富士～



Lunch & Shopping

(7) キャンプファイヤー



Campfire

(8) アメリカンブレイクファースト



(10) マリーンとのコミュニケーション



(12) マリーンからのメッセージ



(9) イングリッシュウォークラリー



(11) エアメールを書こう



(13) 出国審査・マリーンへのお礼



【事後アンケートより】

- 全体の満足度 満足 90%
- 外国の人との交流を通じて自分の可能性を広げたいと思う 90%

【参加者の感想より】

- 入国審査・両替は難しかったけど楽しかった。
- 普段入れないキャンプ富士を見学することができて、貴重な体験ができた。
- マリーンと歌ったり、踊ったり、会話をしたり楽しい時間がたくさんでした。
- 最初は緊張しましたが、マリーンも友達もスタッフもやさしく接してくれてすごく楽しかった。
- 英語で昼食を注文したり、ドルで買い物をしたり、とてもいい経験でした。
- 参加前よりも英語に興味を持つことができた。
- 日数が少ないと思うぐらい時間が早くすぎました。
- アメリカの文化と日本の文化の違いを知ることができた。
- 実際にアメリカに行った気分になれた。

《成果と課題》

- 子供たちの外向き志向の高まり、異文化への興味の高まり、英語学習への意欲の向上を図ることができた。
- マリーンとのコミュニケーションに対する姿勢が日に日に変化していき、最終日には子供たちが英語で積極的に話しかける場面が多くみられた。
- 小学校の教員による入国審査、両替等の英語講義が大変有効でプログラムをスムーズに進行することができた。
- 子供たちはどのプログラムにおいても積極的に取り組んでいたが、時間的余裕がなくなる場面があり、スケジュールの見直しが必要である。